

4 令和7年度事業概要

(1) 令和7年度 事業計画

令和7年度は、これまでの事業実施の成果を踏まえつつ、舞台芸術公演や市民参加型事業等の文化振興事業を通して、芸術文化の振興、普及に努める。

開館5年目を迎えるアクリエひめじでは、NHK 交響楽団やウィーン・フィルハーモニー管弦楽団、ディズニー・オン・クラシック、池辺晋一郎芸術監督のオリジナル企画をはじめ、劇団四季ミュージカルや人形浄瑠璃文楽など多彩な公演を開催し、文化交流の拠点の一つとしてにぎわい創出の一翼を担っていく。また、姫路市ジュニアオーケストラ、演劇ワークショップ等、若いうちから創造的な体験に参加できる芸術文化活動の場を提供し、次世代の育成に寄与していく。

施設管理業務においては、経費の節減を図りながら、来館者の安全性の確保と市民サービスの向上を行い、適切な運営を行う。また、指定管理者として施設を有効活用して文化事業を実施することにより、来館者増と施設のPRを図る。

姫路市書写の里・美術工芸館においては、工芸を通して郷土に根付く生活文化の再発見を促し感性を育む場として、幅広い世代を対象とした企画展示及び体験教室等の育成・普及事業を実施し、美術工芸の振興と継承に努める。

国際交流事業においては、海外諸国との相互理解と友好的な親善を推進し、世界に開かれた魅力ある国際都市づくりを目指す。姫路市の人口の2.5%程度にまで増加している在住外国人に向け、適時性のある情報発信、日本語を習得するための講座や相談窓口の開設により、生活基盤の安定に寄与していく。また、地域社会全体が異なる文化をルーツに持つ人を受け入れる環境の醸成に向け、地域ぐるみで広い世代の市民に向けて講座やイベント、ボランティア活動などの機会を提供する交流事業を実施し、多文化理解を促進する。特に、姉妹都市派遣・受入、子ども国際交流スクール等の国際交流体験の機会を通して、若い世代が世界を広げる機会となる事業を行い、姫路市全体での多文化対応を推進する。

その他、時節をとらえ柔軟に事業の形を整えて展開することにより、文化芸術・国際交流分野だけの振興にとどまらず、観光、まちづくり、教育その他関連分野との連携を深め、市民の活力ある文化的な生活の実現に寄与し、シティイメージの向上を図る。

なお、予算書内訳表の事業区分は次のとおりとする。

| | | |
|---------|----------|------------------------|
| 公益目的事業1 | (略＝〔公1〕) | 舞台芸術等文化振興事業 |
| 公益目的事業2 | (略＝〔公2〕) | 博物館学芸振興事業 |
| 公益目的事業3 | (略＝〔公3〕) | 文化施設の貸与及び管理運営事業 |
| 公益目的事業4 | (略＝〔公4〕) | 国際交流事業 |
| 収益事業1 | (略＝〔収1〕) | 管理運営施設等の物品販売事業 |
| 収益事業2 | (略＝〔収2〕) | 文化施設の公益的目的外の貸与及び管理運営事業 |
| その他事業1 | (略＝〔他1〕) | その他の文化・国際交流事業 |

I 舞台芸術等文化振興事業

「育成」「普及」「鑑賞」「交流」の4機能を事業の柱として設定し、すぐれた舞台芸術の提供、地域文化の育成と支援、郷土文化の伝承と保存、芸術文化活動の振興と奨励、文化情報の収集と提供、文化団体や文化人の交流等の文化振興事業を以下のとおり実施する。

1 アクリエシリーズ [公1]

播磨地域の文化交流拠点として開館5年目を迎える姫路市文化コンベンションセンター(アクリエひめじ)において、大型舞台芸術公演を実施。文化の殿堂と姫路のにぎわい拠点としてのブランディングを促進し、プロモーションする。

| No | 事業名 | 開催日 | 開催場所 | 内容 |
|----|--|---------------------|-----------------|--|
| 1 | 播磨国吹奏楽団 『広がる吹奏楽の世界』 | R7.5.24(土) 【1回】 | アクリエひめじ 大ホール | 新進気鋭の指揮者・原田慶太楼を始め、トップアーティストが姫路に集結し、地元姫路から阪神間で活躍するプロ奏者で構成された播磨国吹奏楽団と共演する。 【指揮】原田慶太楼 【独奏】松田華音(ピアノ) 篠崎史紀(ヴァイオリン) |
| 2 | NHK 交響楽団 姫路特別演奏会 | R7.7.27(日) 【1回】 | アクリエひめじ 大ホール | 全国各地で約120回のコンサートを行い、世界一流の指揮者、ソリストと共演し、国内トップクラスの楽団である NHK 交響楽団の演奏会。 【指揮】ヴァレリー・ポリャンスキー 【独奏】エヴァ・ゲヴォルギャン(ピアノ) |
| 3 | クリスティアン・ティールマン指揮 ウィーン・フィルハーモニー 管弦楽団 | R7.11.8(土) 【1回】 | アクリエひめじ 大ホール | 圧倒的な技術力を持つ最高峰のオーケストラ、ウィーン・フィルハーモニー管弦楽団が、3年ぶりに姫路の地に再来。 |
| 4 | ディズニー・オン・クラシック まほうの夜の音楽会 2025 | R7.12.28(日) 【1回】 | アクリエひめじ 大ホール | ディズニーの輝く名曲の数々を、オーケストラとヴォーカリストの生演奏でお贈りする。 |
| 5 | 大阪フィルハーモニー交響楽団 メンバーによる 親子で楽しむ“わくわくクラシック” | R8.1.17(土) 【1回】 | アクリエひめじ 中ホール | 0歳から参加可能な親子で楽しめるコンサート。 【出演】大阪フィルハーモニー交響楽団 弦楽器メンバー |
| 6 | 池辺晋一郎 Presents ミュージカルコンサート (仮) | R8.1.31(土) 【1回】 | アクリエひめじ 大ホール | 池辺芸術監督オリジナル企画。今回はミュージカル音楽をテーマに、歌手とオーケストラの演奏をお届けする。 【司会】池辺晋一郎 他 |

2 音楽のまち・ひめじ [公1]

姫路の街のにぎわいを創出すべく、特に音楽の分野において多彩かつ芸術性の高い鑑賞型の公演並びに参加型イベント等の開催を通して、音楽文化を振興すると共に、姫路市による「音楽のまち・ひめじ」プロジェクトを推進する。

| No | 事業名 | 開催日 | 開催場所 | 内容 |
|----|-------------------------------------|-------------------|-----------------|---|
| 1 | 大阪フィルハーモニー交響楽団城下町ツアー2025 姫路特別演奏会 | R7.4.6(日) 【1回】 | アクリエひめじ 大ホール | 関西を代表するオーケストラが、国内屈指のマエストロ尾高忠明、ヴァイオリニスト三浦文彰とともにクラシックの名曲をお届けする。 【指揮】尾高忠明 【独奏】三浦文彰(ヴァイオリン) |

| No | 事業名 | 開催日 | 開催場所 | 内容 |
|----|---|--------------------------------------|--|---|
| 2 | 第28回 姫路ジャズフェスティバル 地元ジャズ・バンド大集合 | R7.5.5(月・祝) 【1回】 | アクリエひめじ 大ホール | 地元アマチュアバンドが実行委員会形式により企画・立案、広報、チケット販売をする。 【出演】姫路市立灘中学校吹奏楽部、兵庫県立高砂高等学校ジャズバンド部、スイングキャッツ、サンデーサウンズジャズオーケストラ 他全12団体 【司会】三浦紘朗 |
| 3 | 吹奏楽楽器講習会 | R7.5.24(土) | 山陽中学校 | 吹奏楽の楽器の基礎を学ぶ講習会を開催。姫路市中学校音楽部会、西播吹奏楽連盟の協力のもと中高生への育成普及事業として実施する。 |
| 4 | 懐かしの洋楽ヒットパレード (第29、30回) | R7.5.29(木) R7.9.25(木) 【年間2回】 | キャスパホール | 元ラジオ関西 DJ の三浦紘朗が当時の世相などを織り込みながら進行する、オリジナル音源による CD コンサート。 |
| 5 | 創立5周年記念 姫路市ジュニアオーケストラ 第4回 定期演奏会 | R7.7.6(日) 【1回】 | アクリエひめじ 大ホール | 創立5周年を記念し、定期演奏会のプログラムに音楽物語「ペール・ギュント」を取り上げ、ジュニアオーケストラでは珍しい「語り付き」の演奏に挑戦する。 【指揮】鈴木優人 |
| 6 | 池辺晋一郎芸術監督シリーズ 「音楽をのぞいてみよう！」 第9回 メンデルスゾーン 第10回 ハイドン | R7.7.20(日) R7.12.6(土) 【2回】 | パルナソス ホール | 池辺芸術監督オリジナル企画による、作曲家を題材に音楽の楽しみ方や若手プロ演奏家育成を兼ね備えた演奏会。 【出演】池辺晋一郎(お話) 第9回: 渡辺紗蘭(ヴァイオリン)、北垣彩(チェロ)、阪田みゆき(ピアノ) 第10回: 小曲俊之(トランペット)、佐渡春菜(ピアノ)、クワテュオール・エグレット(弦楽四重奏団) |
| 7 | せたがやジュニアオーケストラ ×姫路市ジュニアオーケストラ 合同演奏会 | R7.8.10(日) 【1回】 | せたがやイー グレットホール (東京都世田 谷区民会館ホ ール) | 姫路市ジュニアオーケストラ音楽監督の池辺晋一郎が同じく監督を務める“姉妹ジュニアオケ”せたがやジュニアオーケストラとの合同演奏会。演奏技術のレベルアップとともにお互いの演奏に向かう姿勢を学び、人材育成へ繋げることを目的とする。 |
| 8 | ピアノシリーズ Vol.3 務川慧悟 ピアノリサイタル | R7.11.22(土) 【1回】 | パルナソス ホール | エリザベート王妃国際音楽コンクール、ロン＝ティボー＝クレスパン国際音楽コンクールの上位入賞で大きな注目を集め、協奏曲、ピアノソロ、室内楽と幅広く演奏活動を行う若手演奏家、務川慧悟が贈る演奏会。 |
| 9 | パルナソス 朝のハーモニー | 年間 【6回】 | パルナソス ホール | 第2土曜日の朝、家族揃って気軽に楽しめるコンサート。出演者は「姫路パルナソス音楽コンクール受賞者」や新進演奏家、地元音楽家などの申し込みにより決定。出演者独自の企画による舞台づくりにより、演奏家の育成を図る。 |

| No | 事業名 | 開催日 | 開催場所 | 内容 |
|----|---------------------------------|-----|---------------------|---|
| 10 | 姫路市ジュニアオーケストラ (運営) | 通年 | アクリエひめじ 他市内公共施設等 | 池辺芸術監督の提唱により創設された。 若者を対象に、オーケストラへの参加と活動を通して社会性や協調性を養い、姫路市の未来の音楽文化を担う人材を育成する。アクリエひめじでの定期演奏会を始め、地域の様々な場所に出向いてのコンサート実施など、音楽文化の振興につなげる。 |
| 11 | 文化情報広報発信 | 通年 | 市内 | FM Genki 等を通じて PR を実施する。 |
| 12 | 音楽のまち・ひめじプロジェクト | 通年 | 市内 | 市内各地において多彩な音楽事業を展開し、まちのにぎわいを創出するとともに、本市における次世代の音楽家を育成。また、音楽事業について、広く周知を図るため、ホームページ、SNS で発信を行い、音楽の力で姫路を元気にする。令和7年度は、姫路城周辺施設での「ふらっとお散歩コンサート」「まちかどコンサート」、ポジティブオルガンと共に市内の小中学校をまわる「アウトリーチ事業」などを企画する。 |
| 13 | ル・ポン国際音楽祭(姫路国際音楽祭)実行委員会 関連業務 | 通年 | 市内 | 市民の間へのクラシック音楽を楽しむ土壌の醸成、芸術に触れることによる市民文化の振興、青少年の豊かな心の醸成を実現すると共に、姫路の魅力を世界に向けて発信することを目的として、平成24年から赤穂国際音楽祭と共同で開催するル・ポン国際音楽祭の実行委員会の一員として、市民への広報、公演の運営に参画する。 |

[パルナソス育成普及事業]

| No | 事業名 | 開催日 | 開催場所 | 内容 |
|----|--|---|--------------|--|
| 1 | 第27回 姫路パルナソス音楽 コンクール受賞記念 コンチェルト in パルナソス | R7.5.18(日) 【1回】 | パルナソス ホール | 前年度コンクール各部門の覇者と日本センチュリー交響楽団による演奏会を副賞として実施する。 【出演】廣畑きらり(サクソフォン) 小川葉奈(ソプラノ) 【指揮】西谷亮 【演奏】日本センチュリー交響楽団 |
| | 第28回 姫路パルナソス音楽 コンクール | R7.6.21(土) 弦楽器本選 R7.6.22(日) ピアノ本選 【各1回】 | パルナソス ホール | 「コンクール」は、将来性豊かな才能あるアーティストの発掘と、姫路とゆかりを持ちながら今後の音楽活動を支援することを目的とする。①ピアノ・弦楽器部門、②声楽・管楽器部門を隔年ごとに開催し、審査員長は芸術監督の池辺晋一郎が務める。受賞者には今後更なる活動の一助となるよう副賞の授与と演奏の機会を提供する。 |
| | 第28回 姫路パルナソス音楽 コンクール受賞者演奏会 | R7.10.19(日) 【1回】 | パルナソス ホール | |

| No | 事業名 | 開催日 | 開催場所 | 内容 |
|----|-----------------------------|--------------------------------|--------------|--|
| 2 | 第25回 上田晴子ピアノスクール「マスタークラス」 | R7.7.25(金) ～7.28(月) 【4回】 | パルナソス ホール | 講師は、上田晴子(パリ国立高等音楽院室内楽科教授・ピアノ科准教授)。ピアノのソロとアンサンブルの公開レッスン、技術面だけでなく、演奏家としての心構え、音楽性にまで踏み込んだ密度の濃いクリニックを実施する。 |
| 3 | バロック in 姫路 声の魔力 バロックの歌物語 | R8.3.15(日) 【1回】 | パルナソス ホール | ホールの特性、音響の良さを生かし、パルナソスホールが所蔵するチェンバロを活用したオリジナル企画。今回はバロックオペラの名場面集(字幕・演技付き)を中心とした、バロックの声楽作品のコンサート。 【出演】鈴木美登里(ソプラノ)、波多野睦美(メゾソプラノ)、佐藤亜紀子(テオルボ)、大塚直哉(チェンバロ) |

〔パルナソス楽器普及事業〕

| No | 事業名 | 開催日 | 開催場所 | 内容 |
|----|-------------------------------------|---------------------|--------------|--|
| 1 | オルガン振興事業 オルガン講座・1日体験 | 通年 | パルナソス ホール | ホールのシンボルであるパイプオルガンの振興を図り「オルガン講座(通年コース(5クラス)、1日体験)」等を実施する。 【講師】長田真実(ホールオルガニスト) 「オルガンシリーズ」では、オルガンソロに限らず、オルガンと他楽器の共演によりオルガン・ファン層の拡大を目指し、オルガン音楽の魅力を周知する。 |
| | オルガンシリーズ Vol.20 オルガン協奏曲の祭典 | R7.4.19(土) | パルナソス ホール | 【出演】 Vol.20 長田真実(オルガン)、大平健介(オルガン、指揮)、弦楽アンサンブル |
| | オルガンシリーズ Vol.21 バロックから現代へ、色彩のパイプ | R7.9.28(日) | パルナソス ホール | Vol.21 山田由希子(オルガン)、山本英助(トランペット) |
| | オルガンシリーズ Vol.22 オルガン音楽の技法 | R8.1.25(日) 【各1回】 | パルナソス ホール | Vol.22 濱野芳純(オルガン) |
| 2 | 0歳からのオルガン クリスマスコンサート | R7.12.14(日) 【1回】 | パルナソス ホール | パイプオルガンの振興・活用・普及のため、ホールオルガニストの企画によるオリジナルクリスマスコンサート。ファミリーで楽しめるよう年齢制限を設けず、一般的なコンサートでは入場が難しい0歳児から参加できる。 【出演】長田真実(ホールオルガニスト)、牧野美沙(パーカッション) |
| 3 | チェンバロ講座 | 通年 | パルナソス ホール | チェンバロの振興・活用・普及のため、大塚直哉(チェンバリスト、東京藝術大学教授)による「チェンバロ講座」、高橋千恵による入門コース、1日体験、佐久間朋子(調律師)による調律レッスン、湯浅宣子によるチェンバロ演奏に密接な関係のある「バロックダンス講習会」を実施する。 |

〔交響詩ひめじ普及事業〕

| No | 事業名 | 開催日 | 開催場所 | 内容 |
|----|--------------------------|--------------------|--------------|---|
| 1 | 第36回 「交響詩ひめじ」 合唱コンクール | R8.2.1(日) 【1回】 | パルナソス ホール | 市制100周年を記念して制作された「交響詩ひめじ」の振興・普及のため、合唱コンクールを通じ歌い継いでいくことを図る。 【審査員】池辺晋一郎(芸術監督、「交響詩ひめじ」作曲者)、矢田正一(兵庫県合唱連盟副会長)、林裕美子(声楽家) |
| | 「交響詩ひめじ」 公開合唱ワークショップ | R7.12.7(日) 【1回】 | パルナソス ホール | コンクールに先立ち、作曲者池辺晋一郎による公開合唱ワークショップも実施する。 【講師】池辺晋一郎 |
| 2 | 「交響詩ひめじ」演奏会 | R8.3.8(日) 【1回】 | パルナソス ホール | 「交響詩ひめじ」の振興・普及を目的とした、2月の合唱コンクール受賞団体と演奏団体によるジョイントコンサート。 【お話】池辺晋一郎 【指揮、演奏】調整中 |

3 市民文化高揚事業

演劇、古典芸能等の分野において、芸術性の高い鑑賞型の舞台公演を開催するほか、各種の振興事業を実施する。

〔演劇、古典芸能、大衆芸能〕

| No | 事業名 | 開催日 | 開催場所 | 内容 |
|----|--|--|--|--|
| 1 | 劇団四季ミュージカル 『赤毛のアン』 〔公1〕 | R7.5.6(火・祝) 【1回】 | アクリエひめじ 大ホール | モンゴメリー生誕150周年に贈る、とっておきのミュージカル。時代を超えて愛され、世界で読み継がれている「赤毛のアン」を上演する。 |
| 2 | キャスパワークショップシリーズ 高校生のための戯曲ワーク ショップ「LET'S WRITE!」 〔公1〕 | R7.6.1(日) R7.6.8(日) R7.7.13(日) R7.7.21(月・祝) 【4回】 | アクリエひめじ 会議室/姫路 文学館/国際 交流センター 会議室(イー グレひめじ内) | 劇作家・演出家の角ひろみ氏を講師に迎え、全4回のプログラムで上演時間20分ほどの戯曲を創作するワークショップ。高校生を対象とし、戯曲創作のおもしろさを体験する。姫路文学館との連携企画。 |
| | 菅原直樹 「老いのワークショップ」 〔公1〕 | R8.1.24(土) 【1回】 | キャスパホール | 「老人介護の現場に演劇の知恵を、演劇の現場に老人介護の深みを」という理念のもと、高齢者や介護者と共に作る演劇公演や、認知症ケアに演劇的手法を取り入れたワークショップを実施する、OiBokkeShi(オイ・ボッケ・シ)の菅原直樹氏(俳優・介護福祉士)を講師に迎え、超高齢社会の課題を「演劇」というユニークな切り口でアプローチする。 |
| | 初心者のための演劇講座 「LET'S DO IT!」 ワークインプログレス (創作+発表) 〔公1〕 | R8.2.7(土) R8.2.8(日) 【2回】 | 姫路文学館 | 「LET'S WRITE!」で完成した作品を使った演劇創作ワークインプログレス(WP/制作過程)と発表会を実施する。 |

| No | 事業名 | 開催日 | 開催場所 | 内容 |
|----|--|---|--|---|
| 3 | クラシック音楽謎解きミステリー 音楽探偵バッハの事件録 怪盗モーツァルトのたくらみ 〔公1〕 | R7.8.3(日) 【1回】 | キャスパホール | 西宮フレンテホール発の参加型劇場公演。クラシックの作曲家や曲をテーマに、謎解き、音楽、演劇の要素を含んだクラシック音楽を違った角度で楽しめる。小学生中～高学年向け。 |
| 4 | 第53回 姫路落語会 〔公1〕 | R7.8.23(土) 【1回】 | アクリエひめじ 中ホール | 文化センター開館から数えて今回53回目を迎える、桂米朝一門の豪華メンバーによる落語会。 |
| 5 | 生誕百年記念 桂米朝まつり 「特別展 噺家の原点 -100年のその先へ-」 【関連企画】 スペシャルトークショー 『米朝と私たち』 生誕百年記念 桂米朝まつり 落語ざんまい 〔公1〕 | R7.8.14(木)～ R7.8.24(日) ※8.18(月)休館 【10日間】 R7.8.14(木) 【1回】 R7.11.6(木) 【4回】 | 姫路市民プラ ザ特別展示室 姫路市民プラ ザアートホー ル キャスパホール | 姫路市の名誉市民である桂米朝の生誕百年を記念した特別企画展を実施する。 桂米團治、中川渉(桂米朝三男/学芸員)、小澤紘司(市内在住米朝研究家)によるトークショー。 桂米朝の生誕百年を記念した落語会を実施。米朝事務所の看板噺家や米朝氏の直弟子を中心とした20名の噺家が出演する。 (各回5名×4回の入替制) |
| 6 | 第34回 こころの祭 姫路 〔公1〕 | R7.11.11(火) 【1回】 | 市内各所 | 姫路の隠れた文化をさらに掘り下げるため、自宅、神社、仏閣などを無料で開放していただく全国でもユニークな催し。公募制。 |
| 7 | 2026 文化交流フェスティバル 〔公1〕 | R8.3.19(木) | 姫路キャッス ルグランヴィリ オホテル | 姫路市芸術文化賞授賞式及び交流パーティを実施。 |
| 8 | ユネスコ無形文化遺産 人形浄瑠璃文楽 〔公1〕 | R8.3.22(日) 【1回】 | アクリエひめじ 中ホール | ユネスコの無形文化遺産である文楽を、世界遺産のあるまち姫路で開催。今回は曾根崎心中を上演する。公演前に鑑賞教室も開催。 |
| 9 | 文化事業連絡会 〔他1〕 | 年間 | 県内文化会館 | 近隣の文化会館との情報交換と交流や今後の連携公演などを計画。 |
| 10 | 友の会事業 〔他1〕 | 通年 | | 財団事業の入場券販売促進を目的として設立した友の会の運営を行う。また、地域の文化人、文化団体、市民等財団以外が主催となつて行う公演チケットの受託販売を行う。 |

4 総合文化雑誌「BanCul」(バンカル)の発行 〔公1〕

「BanCul」を継続発行し、播磨の文化を全国へ向け発信する。127号より電子書籍も同時発行。季刊各2,000部

- ① 136号(夏号) 特集:はりまの公園
- ② 137号(秋号) 特集:はりまの100年(仮)
- ③ 138号(冬号) 特集:未定
- ④ 139号(春号) 特集:未定

5 「文化情報姫路」の制作 〔公1〕

姫路市近隣における舞台、美術、文学等の催物案内、情報を掲載した「文化情報姫路」を毎月制作し、市民に公開する。紙面とウェブサイトを通したデジタルデータでの提供を行う。

発行部数各月3,500部

6 文化活動への後援名義等の使用許可、助成等 〔公1〕

姫路市の文化向上に寄与すると認められる団体や個人が実施する芸術文化活動に対して、財団の後援名義の使用を許可するとともに、年間2回の公募を行い、審査のうえ、事業費用の一部を助成金として交付し、芸術文化活動の活発化を図る。

7 播磨学研究助成 〔他1〕

姫路市及び播磨地域の歴史、文化の学際的研究を推進するために、播磨学研究所が実施する各種の事業活動に対し、助成金を交付する。

8 女流王位戦助成 〔他1〕

女流棋士による将棋タイトル戦の5番勝負のうち1局を市内で開催し、市民を対象とした大盤解説等を実施することに対して助成し、市民文化の向上と姫路市のPRに努める。

【開催日】4月24日(木) 【開催場所】夢乃井(大盤解説は姫路キャスパホール)

9 芸術文化賞選考 〔公1〕

姫路市を中心に活躍、若しくは姫路市の芸術文化の振興に貢献した個人又は団体を顕彰するために、姫路市芸術文化賞の選考を行う。

【授賞式】3月19日(木)

10 姫路地方文化国際交流団体名簿発行 〔公1〕

改訂版を発行し、文化団体・国際交流団体の活動情報収集、および連携を図る。

11 姫路キャスパホール指定管理自主事業 〔公1〕

姫路キャスパホールの指定管理にともなう文化事業を実施する。

| No | 事業名 | 開催日 | 開催場所 | 内容 |
|----|----------------------|-----------------------------------|---------|---|
| 1 | 懐かしの名作映画 in CASPA | R7.6.12(木) R7.10.16(木) 【2回】 | キャスパホール | 指定管理事業の一環として、利用者の少ない平日の昼間を有効に活用し懐かしい名作映画を市民に提供する。 |

12 芸術文化観光専門職大学との連携 〔他1〕

姫路市における芸術文化の振興を図るため、財団と「芸術文化観光専門職大学」の芸術文化分野における連携協定を締結。インターンシップによる学生の受け入れや大学教員を講師として招聘し研修を行うなど、連携事業を実施する。

13 ひめじアートシーズン 〔公1〕

姫路市で令和7年度から新たな文化芸術イベントを実施。オープニングを飾る「参加型 鍵盤ハーモニカ演奏」「ヴァイオリン、フルート、太鼓の楽器体験ワークショップ」を企画する。

【開催日】9月13日(土)～11月30日(日)予定 【会場】市内

14 姫路国際ヴァイオリンコンクール 〔公1〕

2027年秋に予定する「姫路国際ヴァイオリンコンクール」の開催に向け、姫路市、商工会議所などととも「姫路国際ヴァイオリンコンクール実行委員会」を組織し、その事務局を担う。

【開催日】2027年10月予定 【会場】アクリエひめじ

II 博物館学芸振興事業

姫路市書写の里・美術工芸館において、企画展や体験教室等の学芸振興事業を実施する。

1 企画展 [公2]

| No | 展覧会名 | 会期 | 内容 |
|----|---|------------------------------------|---|
| 1 | <テーマ展> 郷土玩具生物図鑑 | R7.4.12(土) ～7.27(日) 107日間 | 菊、虎、鯰、エイ、兎など「いきもの」を象った郷土玩具約50点を実物画像等と併せて展示紹介。 |
| 2 | <春季特別展> 「日本陶芸美術協会 姫路展-第12回陶美展作品を中心にして」 | R7.4.19(土) ～7.13(日) 86日間 | 全国各地で活躍する陶芸家が集結して2012年に設立された「日本陶芸美術協会」による公募展。重要無形文化財保持者(人間国宝)を含む会員作品を中心に、公募審査による入選作など約70点を紹介。『「継承」から「創造」へ』をテーマに個性豊かな作品を展示する。 |
| 3 | <夏季特別展> 「夏休み子どもミュージアム-アジアの布と楽しむ-」 | R7.7.19(土) ～8.31(日) 44日間 | 夏休みの小中学生を対象にしたシリーズ12回目は「布」に注目し播磨の工芸品や清水公照作品とあわせて紹介。姫路市内で活動する「ギャラリーとーく」オーナーの大橋ひろ美氏がセレクトした、インドやラオス、トルコなどアジアの古布、日本三大原始布(科布、葛布、芭蕉布)の帯や着物で、飾る・包む・まとう楽しみを通じて、布の魅力を探る。 |
| 4 | <テーマ展> 少々推シ展 | R7.7.31(木) ～11.30(日) 123日間 | 紙のはりこ、土人形、木の動物など学芸員が推薦する郷土玩具約50点を、その「推シ」への熱意とともに紹介。 |
| 5 | <特別展> 「兵庫工芸展 姫路展」 | R7.9.6(土) ～10.26(日) 51日間 | 県下で活躍する工芸作家団体の「兵庫県工芸美術作家協会」は、公募入選作品を合わせ例年6月に神戸市で兵庫工芸展を実施している。本展はその姫路展として陶芸、染織、ガラス、皮革、漆芸、人形などの約50点で県下現役工芸作家の新作を一堂に会する。 |
| 6 | <企画展> 「書写の里・美術工芸館 イラストコンクール展」 | R7.9.13(土) ～9.28(日) 16日間 | 展示作品や建物外観、当館から見た風景などを対象にした写生(イラスト)コンクール。応募作品は館内に展示、優秀作品には賞金を贈呈する。 |
| 7 | <秋季特別展> 「昭和の歴史的プラモデル・松井康真の世界」 | R7.11.1(土) ～12.24(水) 54日間 | 元テレビ朝日アナウンサーであり(株)タミヤ模型史研究顧問を務める松井康真(まついやすまさ)氏が半世紀にわたり収集した昭和の歴史的プラモデルや貴重な資料の数々と、番組等のために制作したジオラマ作品等を中心に約800点を展示。 |
| 8 | <所蔵品展> 「清水公照の世界」 | R7.11.1(土) ～R8.3.31(火) 156日間 | 奈良東大寺最高位の別当を務めた清水公照(1911-99)の「すみ・いろ・つち」と題した書や墨画、泥仏(どろぼとけ)と呼ばれる陶芸作品を紹介。 |
| 9 | <テーマ展> 全国めでたものづくし | R7.12.4(木) ～R8.3.31(火) 118日間 | 天神や鯛、凧、ミニ祭屋台など、全国各地の「おめでたい」郷土玩具約50点を展示。 |

| No | 展覧会名 | 会期 | 内容 |
|----|-----------------------------------|-------------------------------|--|
| 10 | <新春特別展> 「掌の宇宙 根付展 -NETSUKE」 | R8.1.6(火) ～3.31(火) 85日間 | 根付(ねつけ)とは、江戸時代に印籠などを帯に引っ掛けるために使われた小さな留め具のことで、素材に精巧な彫刻が施され、海外では日本の伝統文化、極小の美術工芸品として現在も人気がある。本展では「公益財団法人京都清宗根付館」の所蔵作品から、現代根付約200点を展示し、手のひらほどの空間に広がる小宇宙の世界を紹介する。 |
| 11 | 「私のいっぴんギャラリー」 | 通年 | 工芸分野の制作品もしくはコレクションの応募作品を最長2週間まで、一品(いっぴん=逸品)ずつ展示。 |

2 イベント、各種体験教室の実施 [公2]

当館及び周辺施設への観光者の増加を図るため、自然豊かな書写山の魅力を発信し、関係団体と連携の上、季節を通じて各イベントを実施する。

- ① 書写山新緑まつりイベント 4月下旬～5月上旬
- ② 開館記念日(31周年)イベント 7月6日(日)
- ③ 秋季の観光促進イベント 10月下旬～11月上旬
- ④ 書写山もみじまつりイベント 11月中旬

また陶芸、染織、漆工芸、版画、工作教室など、見るだけでなく体験できる教室を通年で実施。

3 伝統工芸の製作実演 [公2]

姫路の各伝統工芸の魅力を紹介する目的で、職人による製作実演を館内で実施する。

【実演】姫路はりこ、姫路こま、姫山人形、唐木指物、蒔絵・漆塗り、こま・おもちゃ等の製作

【実演日】土曜日、日曜日、祝日(一部不定期)

4 美術工芸館売店事業 [収1]

常設展や企画展の付帯事業として、図録等関連商品の販売を行う。

III 国際交流事業

地域ぐるみの国際交流を推進し、多文化共生社会の実現を図るため、地域住民への国際教養の普及啓発、海外都市との友好交流、国際交流情報の収集と提供、外国人受入体制の整備及び在住外国人との交流などの事業を実施する。

1 地域住民への国際教養の普及啓発に関する事業 [公4]

(1) 国際交流ふれあい教室

在住外国人を講師に招き、講演や料理等を通して異なる文化・習慣を持つ人々が地域に在住していることを知ってもらい、地域の国際化について考える機会を提供する。また、地域で暮らす外国人と市民の相互理解を図り、暮らしやすい地域づくりを促進する。4回実施予定。

(2) 国際交流理解出前講座

在住外国人や海外生活経験者を市内の公立小中高等学校や公民館等へ派遣し、スライドなどを用いた講演を通して、市民に国際理解を深める機会を提供する。27回実施予定。また、多文化共生マネージャーの資格を持つ財団職員が講師となり、学校や公民館等で多文化共生に関する講座を実施する。随時実施。

(3) 国際理解映画上映会

映画鑑賞を通じて、国際問題について考える機会や異文化理解を深める機会を市民に提供する。

2 海外諸都市との友好交流に関する事業 [公4]

(1) 姉妹都市等友好親善事業

姉妹都市等との友好交流を通して、市民間の交流、市民の異文化理解を促進し、文化の多様性を尊重する地域社会の発展を推進する。

- ① 海外からの来姫者対応(随時)
- ② ヴァヴェル城からの姉妹城提携訪問団対応
- ③ シェーンブルン宮殿からの姉妹城提携訪問団対応
- ④ クリチバ市姉妹都市提携40周年記念訪問団対応
- ⑤ シャルルロア市姉妹都市提携60周年記念事業
 - (ア) シャルルロア市公式訪問団派遣・受入
 - (イ) 相互理解推進事業 関西万博ベルギーパビリオン訪問
 - (ウ) シャルルロア市青年訪問団派遣

⑥ フェニックス市児童合唱団 市民交流事業

コンサートツアーで来日するフェニックス市の合唱団が姫路市で無料のコンサートを実施することに伴い、姫路市の合唱団や音楽家と演奏を通じた交流を行う。

⑦ フェニックス市姉妹都市委員会 来姫

日本文化への理解を深めるべく姉妹都市である姫路を訪問し、灘のけんか祭り等の神事を視察する。

(2) 青少年交流事業

姉妹都市でのホームステイや姉妹都市の青少年等とのオンラインでの交流等を通して異なる文化を理解し、お互いの違いを認めながら共生できる次代を担う青少年を育成する。

① 青少年派遣

| 姉妹都市名 | 派遣者 | 人数 | 時期及び期間 | |
|---------|-------|----|--------|-----|
| フェニックス市 | 高校生 | 2 | 7月～8月 | 2週間 |
| アデレード市 | 高校生 | 5 | 7月～8月 | 2週間 |
| 昌原市 | 中学生 | 10 | 7月～8月 | 1週間 |
| 太原市 | 中・高校生 | 10 | 7月～8月 | 1週間 |

② 青少年受入

| 姉妹都市名 | 派遣者 | 人数 | 時期及び期間 | |
|---------|-------|----|--------|-----|
| フェニックス市 | 高校生 | 2 | 6月～7月 | 2週間 |
| アデレード市 | 高校生 | 5 | 9月～10月 | 2週間 |
| 昌原市 | 中学生 | 10 | 12月～1月 | 1週間 |
| 太原市 | 中・高校生 | 10 | 8月 | 1週間 |

③ 青少年交流

(ア) 海外姉妹都市等オンライン交流

中・高校生が姉妹都市等の青少年等とオンラインで交流することにより、友好を深めるとともに異文化理解を促進する。

(イ) 子ども国際交流スクール

小学生が海外姉妹都市、多文化共生、姫路の文化等について学習する。またオンラインで海外姉妹都市等との交流を図る。海外諸都市との友好交流の担い手を育成することを目的として実施する。

(ウ) 留学生・高校生交流事業

兵庫県に留学している外国人を姫路に招き、姫路市の生徒との交流機会を提供し、青少年に多彩な国の文化との邂逅を体感させ双方向での理解を推進し多文化共生の入り口とすることを目的として実施する。

④ 派遣生 OB への活動支援(随時)

3 国際交流に関する調査研究及び情報の収集並びに刊行物の発行提供に関する事業

(1) 情報提供事業 [公4]

日本語を読んだり話したりできないことによる在住外国人の情報のハンディキャップを補うため、外国語放送・新聞では得ることのできない地域の情報(行政、教育、経済、社会、生活等)を母国語等で提供し、暮らしやすい環境づくりを行う。

① 外国語生活情報誌「VIVA!ひめじ」発行(Vol.93~96)

在住外国人に向け、6か国語(日・英・スペイン・ポルトガル・ベトナム・中国)で生活情報を提供。在住外国人希望者への郵送及び市内公民館等への配付を行い、ウェブサイトにて公開する。また、編集ボランティアと翻訳ボランティアの意見交換、交流を行う「VIVAの集い」を1回開催する。なお日本語は、通常版とやさしい日本語版で発行する。

② ウェブサイトの運営

日本語に不慣れな外国人へも速やかな情報提供を図るため、利用のしやすさに配慮したウェブサイトを通して、イベントの告知及び報告、在住外国人のための生活情報等を提供する。

(2) 外国語放送による情報発信 [公4]

FM Genki でベトナム語により生活情報等を提供する。毎週1回5分程度。

(3) 機関紙等の発行 [公4]

機関紙及び海外姉妹都市青少年交流事業報告書を発行し、事業実施状況を報告する。

| 種類 | 発行回数及び部数 | | 内容 |
|--------------------|----------|---------|-------------------------------------|
| 機関紙「Hello! Himeji」 | 1回 | 1, 500部 | 事業の紹介等。賛助会員等へ郵送する他、イベント開催時に配布。 |
| 機関紙「SHIRASAGI」 | 3回 | 各400部 | 最新のイベント情報及びイベントレポート。賛助会員等へ郵送。 |
| 海外姉妹都市青少年交流事業報告書 | 1回 | 1, 500部 | 青少年派遣・受入学生の体験報告書。賛助会員、派遣生及び各学校等へ配布。 |

(4) 賛助会員への通知 [他1]

機関紙、イベントの案内等をダイレクトメールにより送付する。

4 外国人受入体制の整備及び在住外国人との交流に関する事業 [公4]

(1) 在住外国人のための日本語講座の開催

① 在住外国人のための日本語講座

地域や職場に必要な会話や生活習慣を学ぶために日本語学習の機会を提供し、言葉の面から生活支援を行う。初級6クラス、中級1クラス各20名。3期(5~7月/9~11月/12~3月)各10回開催予定。

② 日本語ひろば・日本語ひろばキッズ・日本語ひろばキッズ+

日本語ボランティアに活動の場・機会を提供し、生活に必要な日本語学習を希望する在住外国人の細かなニーズ(時間、レベル、目的)に対応した日本語学習支援を行う。また、在住外国人児童・生徒の居場所づくりを行う。

(2) 市民のための外国語講座(姫路獨協大学との共催事業)

市民に外国語を学習する機会を提供し、市民の異文化理解を図る。

(3) 日本語学習支援ボランティア養成講座

日本語ひろばや地域の日本語教室で活動する日本語学習支援ボランティア養成のため、日本語指導ボランティアとしての心得や日本語教授法についての基礎講座を開催する。

(4) 日本語教育関係者連絡会議

日本語教育関係者連絡会議を開催し官民連携による日本語教育環境の整備と推進に努める。また、ボランティア養成講座等を通して、当該会議に参加しボランティア指導者を求めている教室を紹介する機会を設け、その活動を推進する。

(5) ボランティアステップアップ学習会

市民及び登録ボランティアを対象に、ボランティア活動の更なるステップアップを目指すための学習会を開催する。2回実施予定。

(6) 外国人相談センター

多言語による生活相談を実施し、在住外国人の生活面での問題解決を支援する。相談員が話すことができない言語でも、翻訳機を使って相談に応じる。

| 開催場所 | 曜日 | 時間 | 相談員が話せる言語 |
|---------------------|-------|----------------|--------------|
| 市民相談センター (市役所1階) | 月～金曜日 | 9時～12時、13時～17時 | 日本語、英語 |
| | | 13時～17時 | ベトナム語 |
| | 火曜日 | 13時～17時 | 中国語 |
| | | 13時～16時 | ポルトガル語、スペイン語 |
| 城東町総合センター | 火曜日 | 13時～17時 | ベトナム語 |
| 高木総合センター | 水曜日 | 13時～17時 | ベトナム語 |
| 見野の郷交流館 | 木曜日 | 13時～17時 | ベトナム語 |

※ 休日及び年末年始を除く

(7) 国際交流フェスティバルの開催

各国料理模擬店、多文化共生を考えるワークショップ、各国民族舞踊音楽の紹介、世界の遊び、民族衣装やアポリジナルアート体験などのイベントの開催を通して、市民の異文化交流・理解を図る。

【開催日】10月26日(日)予定 【会場】大手前公園

(8) 日本語スピーチコンテストの開催

日本語を母語としない在住外国人に日本語学習の成果を発表する機会を提供するとともに、市民に多文化共生社会について考えるきっかけを提供する。

【開催日】2月下旬～3月上旬(未定) 【会場】イーグレひめじ あいめっせホール

5 国際交流関係団体の連携及び支援に関する事業 [他1]

在住外国人への多様な支援につなげるため、国際交流推進に係るボランティアを募り、活躍の場を提供すると共に交流連携を推進し、その活動を支援する。

(1) 市民ボランティアの登録推進

広く一般市民を対象に、ホームステイ、通訳・翻訳、日本語指導のボランティア登録を随時受け付け、国際交流に関する情報と公益活動の機会を提供する。

(2) 市民ボランティアによる事業の推進

登録ボランティアが在住外国人支援のために主体的に企画・運営する事業の、実施と活動の支援を行う。また、ボランティアは海外姉妹都市青少年交流事業において、青少年派遣時に研修アシスタント、受入時に財団プログラムに参画する。

【推進する事業の例】

- ① ボランティアによる日本語学習者支援
- ② ボランティアによる在住外国人向け情報誌の制作(企画・取材・翻訳・編集)

(3) 地域交流助成事業

市内で国際交流・相互理解を図るための事業を実施する団体に助成金を交付する。また、姫路市内で実施される国際交流事業に対して後援名義の使用を許可する。

IV 施設管理運営事業

指定管理者制度の導入に伴い、制度の趣旨や公立文化施設としての使命を理解し、運営経費の節減に努めるとともに、利用者へのサービスに徹し、使用率、収支比率の向上を目指す。また、管理施設内において、前述のようなすぐれた舞台芸術の提供、市民参加型の事業等を実施する。また、安全対策のノウハウを蓄積し、施設利用者に安全性の高い施設を提供することにつながる。

文化事業への貸出は、公益目的事業3。文化事業以外への貸出は、収益事業2で管理する。

1 姫路キャスパホール(指定管理施設)の管理運営

- (1) 貸館事業(使用許可、使用料徴収事務、減免、還付事務)
適正、迅速な事務処理を行い、広報活動により使用率のアップを図る。
- (2) 光熱水費等の管理運営経費の節減に努める。
- (3) ウェブサイトを定期的に更新し、利用者に配慮した身近な施設となるよう広報に努める。

2 パルナソスホールの管理運営

- (1) 貸館事業(使用許可、使用料徴収事務、減免、還付等事務)
適正、迅速な事務処理を行い、広報活動により使用率のアップを図る。
- (2) 光熱水費等の管理運営経費の節減に努める。
- (3) ウェブサイトを定期的に更新し、利用者に配慮した身近な施設となるよう広報に努める。